

電気通信工事業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	13~14	お客様宅マンション2F廊下にて、高さ約2.5mにあるガスメーターの交換作業をする為に90cm脚立に立って上を向き、パイプレンチでメーターユニオンを水平方向へ締め込めをしている時、首と背中肩甲骨に違和感がありながら作業を続けていたところ、首の痛み・頭痛・めまい・背中肩甲骨痛が生じた。	53	10~29
3	18~19	会社の倉庫内で清掃をしている時、二段積みのタイヤを動かそうと持ち上げた時に痛みがはしった。	30	50~99
4	16~17	工事現場で片付け作業中、トラック荷台にのっていた発電機（約40kg）を持ち上げ移動させようとした時に体勢を崩し、体をひねって腰部と背中を負傷した。	46	1~9
5	13~14	電気設備の配線路点検中に狭い場所を通り抜けようとした際に胸が押えつけられそうになり、通り抜けたところ胸に違和感と痛みを感じた。	33	10~29
6	14~15	土地造成に伴う仮設電気工事現場において、仮設ポールを立てるため、鋼管（約6m、重さ45kg）を肩に担いで持ち上げた時、腰に激痛がはしり痛めたものである。	43	1~9
6	11~12	鉄クズを持ち込んだ時、車の後部座席から数個の鉄クズが入った荷物を2人で出しながら、応援の人へ渡していた。最後の荷物を持って車の外へ出ようとしたところ、たまたまFB（平板鉄）とLアングル（L字型の鉄板）の重なっている上を踏んでしまい、右足をグニャッと捻ってしまい、その場にへたり込んでしまった。	60	30~49

7	15~16	太陽光発電設置現場に於いて、電気配管を移動し埋設する作業中、持っていたつるはしを振りかぶったとき胸に痛みが走った。	23	10 ~ 29
7	10~11	バケット車に搭乗し、電柱上に取り付けてあるPHSアンテナを撤去するため、両手でPHSアンテナを持ち上げようと上部へ押し上げた際、腰部に痛みが走った。	40	50 ~ 99
9	21~ 22	本社内倉庫にて、片づけ・整理作業中、倉庫内に置いてあるケーブルドラム（約300kg）を移動させるため、手で方向転換させようと足に力を入れた際、右ふくらはぎに殴られたような衝撃があった。	45	10 ~ 29
9	16~ 17	住宅新築工事で、電気配線をしている際、脚立から降り着地したとき、地面に置いていた材料を踏んでしまい、左足をひねり、骨折した。	24	1 ~ 9
10	7~8	会社駐車場にて、駐車してあった会社所有の車両を効率よく動かせる様に、駐車位置を調整しようとして1台の車両に乗車し発進させようとしたところ、ギアがバックに入っていた。会社駐車場に隣接する外部敷地に脱輪する形で進入したため、その車両を引き上げようとワイヤーで牽引する他の会社車両のサポートをするために、被災者が自ら脱輪した車両の後部にまわり車両を持ち上げようとして腰を痛めた。当日は午前中はそのまま勤務し、午後から様子を見るため帰宅したが、被災者自身の感覚ではそこまで痛みがなかった。第11胸椎圧迫骨折と診断されたもの。	45	30 ~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)